

日本原子力学会 核燃料部会
令和7年度第四回運営小委員会議事録

日時：令和7年11月13日(木) 9:30~11:00 於 WEB 会議(Teams)

出席者：尾形部会長，黒崎副部会長，渡部副部会長、有馬委員，宇田川委員，浦野委員，逢坂委員，長内委員、片山委員，樽松委員，澤委員，園田委員，田伏委員，鶴田委員，樋口委員，森本委員，吉委員、西岡(記)

議事：

0. 開催挨拶

運営小委員会開催にあたり、尾形部会長からご挨拶をいただいた。

1. 前回議事録等の確認(資料1)

前回(令和7年度第三回)議事録は、確認済みであり、配布のみ。

2. 令和7年度核燃料部会業務分担について(資料2)

西岡より、庶務幹事は計画通り10月から西岡に交代したことを説明した。庶務幹事就任に当たり、西岡から簡単な挨拶を行った。

3. 企画小委員会の概要について(資料3)

黒崎副部会長より、10/29(水)に開催された2025年度第4回企画小委の概要についてご説明いただき、主に「2026年春の年会企画セッション」と「企画小委の在り方」について議論があったことを報告いただいた。「企画小委の在り方」については、ゼロベースで在るべき姿を検討し、「若手へ委任すべきだが、あくまで自主性を重んじるべき」という意見にまとまった。その仕組みを構築するための課題として、若手の育成方針が要検討事項となった。

尾形部会長より新型炉部会の事例をご紹介いただき、新型炉部会では企画ネタを常に考えているグループがあり、企画提案が多いとのこと。核燃料部会でも同様のグループを立ち上げるのも一案かをご提案いただいた。今後、企画小委等の場で議論を継続する。

4. 2026年春の年会の企画セッションについて(資料4)

西岡より、2026年春の年会の企画セッションの提案状況について説明した。企画セッションは「核燃料開発へのAIの応用」というテーマで計算科学技術部会との合同セッションとし、本件はメール審議で了承済みであること、11/10(月)に提案書を提出したことを報告した。

また、尾形部会長より、2026年春の年会の企画セッション会場については、事務局に広い会場を手配してもらうよう指示があった(2025年秋の大会では会場が狭く、参加人数分を十分に収容できなかったため)。

5. 運営小委における情報交換・情報共有（資料なし）

黒崎副部長より、核燃料分野に関するトピックや日本の原子力活用方針についてご紹介いただいた。

核燃料分野に関するトピックでは、「Comprehensive Nuclear Materials」の Editor である Konings 氏より、改訂依頼があったことをご報告いただいた。

日本の原子力活用方針については、2025 年 2 月の第 7 次エネルギー基本計画における「原子力の最大限活用」という方針に触れ、既設炉の再稼働、次世代革新炉の開発、国を挙げての人材育成といった動きが活発になっており、原子力業界に携わる者として一層気を引き締めるようお言葉をいただいた。

次回の運営小委では、渡部副部長より情報交換・情報共有いただくこととした。

6. 令和 7 年度収支実績と令和 8 年度予算について（資料 5）

西岡より、令和 7 年度収支実績と令和 8 年度予算案について説明した。通常予算案、夏期セミナー予算案ともに令和 7 年度の配分と同等との説明で、承認された。11/21（金）に事務局に予算案を提出予定。

7. 2025 年秋の大会核燃料部会部会賞の選考結果について（資料 6）

樋口委員より、2025 年秋の大会における核燃料部会学会講演賞の選考結果についてご報告いただいた。選考の結果、NDC 下出氏が受賞者として提案され、承認された。

また、2026 年春の年会から評価シートの記載を一部改め、応募者へのフィードバックのために「応募者へのメッセージ・アドバイス」という欄を設けることが提案され、異論はなかった。

8. 核燃料部会報について（資料 7）

田伏委員から、核燃料部会報（No. 61-1）の目次、内容、執筆者の案について説明があった。

特別寄稿については、2025 年秋の大会講演賞を受賞された NDC 下出氏に依頼することとしたが、期限が短いため対応不可となった場合は、今回の特別寄稿はスキップする。

また、尾形部長より、国際交流ニュース、関係機関便り、ニュース、会員の声について毎回寄稿なしとなっているが、次回から運営小委の持ち回りで寄稿してはどうかとご提案いただいた。

9. 2026 年度夏期セミナーについて（資料 8）

渡部副部長より、2026 年度夏期セミナーの計画についてご説明いただいた。計画については第三回運営小委から変更はなく、現時点で予約可能な水戸駅前の BIZcomfort 水戸を仮押さえ済み（なお、BIZcomfort 水戸以外の会場は 3 か月前からしか予約できない）。会場については今後も検討を継続する。

1 0. 部会等運営委員会からの連絡事項（資料 9）

渡部副部長から、2025 年度第 1 回部会等運営委員会の概要について報告いただいた。主なトピックとしては、今後の年会・大会の開催予定地や運営方針が挙げられた。今後の開催予定地は以下の通り（今後は基本的に対面開催）。

- ・ 2026 年春の年会：熊本城ホール・市民会館
- ・ 2026 年秋の大会：愛媛大学
- ・ 2027 年春の年会：東京科学大学
- ・ 2027 年秋の大会：北海道大学

また、今後事務局主導で運営する大会については、部会等運営委員会内に WG を設置する可能性があることも説明いただいた。

1 1. 今後の核燃料部会 HP 管理について（資料 10）

中西委員が不在だったため、本件の対応方針は今後の議論で決定することとした。

樋口委員より、核燃料部会 HP の在り方から考え直してみてもどうかとご意見いただいた。例えば、今後も単に情報更新するだけであれば、現在の学会レンタルサーバーを継続して使用し、HP 管理担当者だけを変える対応が良い。一方で、核燃料部会からの情報発信源として積極的に用いていく方針とするならば、新サーバーのレンタルや外注も視野に入る。樋口委員のご意見を踏まえ、今後は核燃料部会 HP をどのように使用していくかといった観点で議論を進めることとした。

1 2. その他

運営小委の連絡手段として、今後は JAEA 殿のメーリングリストを使用することを報告した。

また、次回の令和 7 年度第五回運営小委員会は、令和 8 年 1 月 13 日（火）9 時 30 分から WEB 開催することとした。

以 上